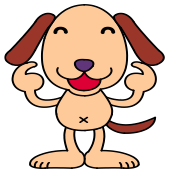
SMILE（スマイル）



令和４年度　人権通信
第　１　号
令和４年８月３１日
渡里小学校人権教育部

「人権」とは…

「人権」とは、一人ひとりが生まれたときから持っている「自分らしく生きる」権利のことです。つまり、人は生まれたときから「自分らしく生きていいですよ」ということですね。この世に全部が同じ人はいません。一人一人違い、その違いを認め且ついいところを見つけて、それぞれが大切な存在であることを意識しながら生活していきたいですね。

真剣（しんけん）に人権（じんけん）研修

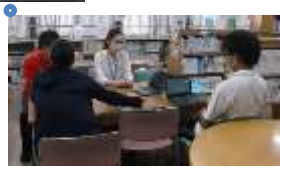
夏休みに、校内研修の一つとして「人権教育研修会」を行いました。人権とは何か、あらためて考え、教職員の人権感覚を養うことが目的です。

人が人らしく生きていくには、差別や偏見をなくすことが必要です。

そこで、「男女差別」「人種差別」「障害者差別」「病気差別」という４観点で、どんな差別が考えられるのか、これまでの経験をもとに考えてみました。児童たちの言動の中に、差別や偏見につながりそうなものが見えるかどうかというのは、常日頃から人権意識を高めておかなければならないことに、あらためて気づかされました。

また、私たち教職員自身も気を付けていかなければなりません。

この研修を通して、まずは私たち教職員が、しっかりとした人権意識をもち、児童や保護者、地域の方々と接していくことで、誰もが「自分らしく生きる」ことのできる社会にしていきたいと思いました。



何気ない言動が差別となり、それが人権侵害に…

気を付けていても…

生活をする中で、何かしらの病気を患ったことがあるかと思います。どんなに気を付けていても、体調や環境によります。いつ自分がそのようになるのか、だれもわからないと思います。ところが、病気を患った方に対して、心無い接し方をしてしまうことがあるようです。

社会では、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見が問題となっています。国や地方自治体からも、差別や偏見をなくすよう呼びかけられています。

思いやりの心で接し、誰もが安心して生活できる社会にしていきましょう。